

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 創生事業団	事業所名	グッドタイムサポート・長岡
所在地	(〒940 - 0012 ) 新潟県長岡市下々条2丁目1373-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24時間365日営業。

その人、その人に合ったサービスの提供を行い、安心した生活が送れるよう支援している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 9 月 27 日	従業者等自己評価 実施人数	( 7 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 月 日	出席人数 (合計)	( 13 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者 ( 1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 2 人) <input type="checkbox"/> その他 ( 3 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>研修に参加する機会を増やし個々のレベルを上げていく。</p>	<p>ヘルパー会議の中で、多くは行う事が出来なかったが、議題を出し研修を行う事が出来た。</p>	<p>・研修の機会を増やすことは難しい中で、どの様にして個々の職員のレベルを上げていくのかを検討することも必要。 ・研修の時間を設ける事が難しい状況でもあったが、その中でも様々な議題を出し研修を行うことができた。</p>
<p>II. サービス提供等の評価 (評価項目 11～21)</p>	<p>それぞれの利用者様に合ったサービスとは何かを常に心がけ、気兼ねなく要望等が言えるような気配りも身に着けていく。</p>	<p>訪問時の利用者の状態や様子を職員間で確認し気になった事は、声に出してサービス提供の検討に役立てている。直接ではない時は、連絡ノートを活用している。</p>	<p>・利用者の要望だけでなく、介護職としての専門的な意見をもとにより良いサービス提供となるように提案することも大事なことだと思ふ。 ・利用者との信頼関係を築き、相談しやすいとの声も聞かれ、その中で利用者にあつたサービス提供ができる様、今後も努めていきたい。</p>
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)</p>	<p>協力医療機関の Dr やスタッフ、また訪問看護との情報共有を怠らず、密に行っていく。</p>	<p>・情報の更新がなるべく遅れないように努める事ができた。</p>	<p>・介護の専門職として他職種にも意見を伝え連携してください。 ・協力医療機関や訪問看護と情報を共有し、介護側の意見もしっかりと伝えるように心掛ける事が出来た。</p>

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	ポスティングなど有効な手段を使い周囲からの認知度を高める為、広報活動も行っていく。	なかなか広報活動を行なう事が出来なかったが、地域の居宅事業所などへのサービスの案内活動の幅は広げることが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に向けてのPRが不足していると思う。周辺に同じサービスがないことから、地域の方が認知すれば利用したいという声もあると思う。</li> <li>・今後の大きな課題であり、職員全体で取り組んでいきたい。</li> </ul>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)	利用者様の生きがいやハリのある生活を送れるような計画を立てる。	利用者様の生きがいやハリのある生活を送れるような計画を立てる。	訪問を行う中でアセスメントを行い、利用者の要望に少しずつではあるが対応できるようになってきている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの要望に応えるだけではなく、介護側の意見も積極的に出していききたい。</li> </ul>

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」「事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

### ■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	研修に参加できる機会を増やすため、シフトの組み方を工夫して参加人数を増やし、個々のレベルアップに繋げていく事ができた。	研修参加後、感想などを聞いたり、振り返りの時間を持ち、今後の研修や個々のレベルアップに繋げていく。 研修の題材を職員で順に持ち回り、個々の意識向上に繋げていく。
II. サービス提供等の評価 (評価項目 11～21)	利用者の状態を職員間で共有し、サービス提供に役立てる事が出来た。	介護職として利用者の状態に合ったサービス提供ができる様、見直しなど早く対応できるように努めていく。 職員間での情報共有を密にし、いつでも確認できるよう連絡ノートを活用していく。

<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)</p>	<p>他職種の協力のもとに情報の共有や、意見交換することができた。</p>	<p>他職種との情報共有、意見交換を積極的に行い、専門的な意見や助言をもとに、利用者の安全安心につながるように努めている。</p>
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)</p>	<p>人員不足から積極的な広報活動を行うことが出来なかった。</p>	<p>地域に向けてのPRを職員全体で考えていく。 職員全体で地域にとってのサービスの必要性を考え、意識を高めていく。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)</p>	<p>利用者の意向をくみ取りながら、介護側からも意見を出し計画に反映できるようになってきている。</p>	<p>職員全体で意識向上をはかり、介護職としての専門的な意見をもとに利用者が生きがいを感じられるような援助が出来るよう計画を立てる。</p>

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します